

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

## 東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 533 2017.06 >

BULLETIN

2016年7月～2017年6月



国際会長  
アジア会長  
東日本区理事  
関東東部部長  
クラブ会長

Joan Wilson「私たちの未来は、今日から始まる」(カナダ)  
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)  
利根川恵子「明日に向かって、今日動こう」(川越)  
片山 啓「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」(茨城)  
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会 長 浅見 隆夫  
副 会 長 西澤 紘一  
書 記 目黒 卓  
会 計 平林 正子  
監 事 柿沼 敬喜  
担当主事 松本 竹弘

### 6月 ペンテコステ、教会の誕生

彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、  
祈ることに熱心であった。  
(使徒言行録 2:42)

### 2017年06月 第一例会

日時:2017年06月21日(水) 18:30～20:30  
場所:千代田区和泉橋区民館 2階  
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931  
受付:高谷君/司会:柿沼君

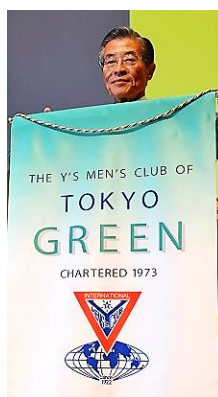
開会点鐘 浅見会長  
ワイズソング・ワイズの信条 全 員  
聖句・お祈り 古平君  
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長  
食事

メンバースピーチ (ニコニコ献金)  
～～今期を振り返ってひとこと～～  
(全員 2～3 分をお願いします)

神田川関連報告/YMCA 情報

Happy Birthday<6月古平メン 1名> 松本君  
ニコニコ発表 浅見ク君  
閉会点鐘 浅見会長

### ～ 評価 強調月間 ～



ピンチヒッターとして次期会長研修を久しぶりに受け、気も新たにその任に着きましたが思わぬ病を得て体調面の衰えは如何ともしがたく、会員の皆様に多大なご負担をお掛けし申し訳ございませんでした。今期はそのご恩返しに会長をお引き受けしましたが、またまた病を得て東西ワイズ交流会・次期会長研修会をドタキャンする羽目となり前途は多難であります。

神田川船の会も発足以来第75回目にして天候不良で中止、改めて、晴れ男、故林福松メンの神通力を感じました。何はともあれ賽は投げられました。大好きなゴルフ・民謡から完全に足を洗い、会員の皆様に全ての御役を留任していただき、その時間をワイズ活動に振り向ける所存です。メンバー数の少ない川越クラブが近隣クラブの協力を得たとはいえ、あのように立派に東日本区大会を成功させました。その感動を糧に新生グリーンワイズを目指しますので会員皆様のご協力をお願いいたします。

(会長 浅見隆夫)

\*16-17年度最終の例会です。ぜひ、お揃い下さい。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 13/16 81%

出席:5月例会 (グリーンメン 11名、メネット1名、ゲスト1名)計 13名

【ニコニコ】 5月例会 12,000円 累計 111,000円

＜2017年05月第一例会報告＞

日時:2017年5月17日(水)18:30~20:30  
場所:千代田区和泉橋区民館 2F  
出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・稲垣・柿沼・古平  
佐野・高谷・布上・花井・平林・布上(メネット)  
(ゲストスピーカー)

伊藤幾夫(東京多摩みなみクラブ・次期東新部長)



定刻キッカリに開会、開会セレモニー後第75回にして初めて天候不良による「神田川船の会」開催中止で落ち込むメンバーに、平林会員差し入れの赤ワインで10月に予定されている「神田川船の会」成功を祈念して乾杯!

美味しい食事後、伊藤幾夫氏より卓話「ものの見方・考え方」を拝聴しました。

デンマークの心理学者エドガー・ルビンが考案した有名な「ルビンの壺」見方によって向きあった2人の顔や大型の壺に見える多義図形。寄り目にするると違った図形が浮かび上がる模様などで盛り上がり、米国ドル紙幣の謎が語られました。

\*裏面のピラミッド上部三角内に神の目、未完成なのはもっと国が大きくなることを願って\*初代大統領ジョージワシントンもメンバーだったといわれる世界を支配する秘密結社フリーメイソンの話\*ピラミッドの段数が13段\*鷲の足が掴んでいるのはオリーブの枝と矢、それぞれ13枚の葉と13本で、建国当時の13州を表している\*鷲の頭上にある星の頂点を結ぶとダビデの星の紋章になると、ここまで解説されてここからが数学学者の領分、ドル紙幣を直角三角形に折りまげていき、折り目を三次元に復元するとピラミッドの出来上がり! 依ってドル紙幣は額面に関わらず同じ大きさ。会員一同熱心に聞き入り、大変楽しく面白いお話にアツと云う間に予定時刻になり盛大の拍手をもって終了しました。



例会後半は稲垣実行委員長より開催中止決定の経過報告、事後処理、今回の経験を踏まえ次回開催に向けての準備、などが話された。また、三浦屋・新倉メンご紹介で今回ご迷惑を掛けた会終了後の打ち上げ場・エドモンドホテルを8月納涼例会会場に目黒プログラム委員長の同意が得られれば推薦したいと提案され、満場一致で承認されました。例会は定刻に終了浅見会長の点鐘でお開きとなりました。(浅見(隆)記)

＜2017年05月第二例会報告＞

日時:2017年5月10日(水)18:30~20:00  
場所:千代田区和泉橋区民館 4F  
出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・稲垣・柿沼・高谷  
布上(征)・布上(信)・平林・松本・目黒  
＜クラブ役員会/神田川委員会と同時開催＞

1. 配布資料
2. 報告・連絡事項
  - ①ロースター発注済み 東日本区17部/西日本区1部
  - ②6月3日~4日・川越・東日本区区大会  
メモリアルアワーの件 \*青木勝己メンの資料提出
  - ③8月納涼例会の件  
8月16日(水)クラブ例会日に開催  
会場・時間・費用 目黒プログラム委員長一任
  - ④東京江東クラブメネット例会のお知らせの件  
5月14日 12:00~ 江東YMCA幼稚園レクホール
  - ⑤第15回東京YMCA 会員大会の件  
5月27日 13:30~ 東京YMCA 東陽町センター  
＜神田川PR＞ 浅見T・柿沼・布上S・N 出席  
展示画像など手配(稲垣)/作成(布上)
  - ⑥会員芸術祭の件  
6月26日~7月1日 東京YMCA 東陽町センター  
6月24日 オープニングセレモニー  
嶋倉昌平氏「津軽三味線」演奏  
5月26日 出展申し込み締め切り
  - ⑦プルトップ車椅子贈呈先申し込みの件  
柿沼メン:千葉デイスサービスグループホームを申請済
  - ⑧5月15日 4/13 チャリティーゴルフ評価会  
東陽町センター 18:30 浅見・柿沼出席
  - ⑨5月31日 第1回 木場・チャリティーラン委員会  
東陽町センター18:30 佐野出席
  - ⑩5月29日 東陽町センター コミュニティー委員会  
18:30 青木出席

3. 審議・協議事項
  - ①神田川船の会最終委員会  
＜5月13日:第75回神田川船の会 開催＞
  - ②8月納涼例会の件  
開催日(長尾部長公式訪問との兼ね合い)  
8月16日(水)で企画する
  - ③東日本区JEFの件 / 浅見会長  
(浅見(隆)記)

\*\*\*\*\*

Happy Birthday

06月 古平 光市(メン)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい  
(2016-17年度 会計:平林正子)  
みずほ銀行・戸越支店(普通 2208674)  
(口座名)東京グリーンワイズメンズクラブ

本年度、クラブ会員皆様のご協力に感謝いたします。

\*\*\*\*\*



東日本区大会 ネットアワーに参加して



2017年6月3日東日本区大会、ワイズメネットアワーはウエスタ川越の会議室で33名のメネットが参加され開催されました。特別講演は長野市在住、整理収納アドバイザー、小林晶子さん。時間整理、暮らしの片付け、自分のための生き方、時短、ライフスタイルの勧め等々を伺って、反省点も多く、大変勉強になりました。

今期、相磯メネット委員長のお働きで東日本区メネットの集い、2月の東西交流会メネットアワーin 御殿場での意見交換会、バザー等々が行われ、委員長の標語「清く・美しく・美しく」のとおり楽しんで参加出来ました。この一年間のご活躍に感謝と御礼を申し上げます。(布上信子 記)

\*\*\*\*\*

第15回 東京YMCA 会員大会



2017年5月27日(土)、東陽町センターにて「東京YMCA会員大会」を開催しました。一年間の活動報告をすると共に、各種の表彰、役員を選出、交流会などを行いました。今年のテーマは「会員の 会員による 会員のための大会」でしたが、会員がより主体的に大会運営にかかわり、魅力ある大会にしたいと、「会員維持・増強委員会」が話し合い、会員が事業・活動をブース形式で紹介していくことが発案され実施しました。初めての試みでしたが、それぞれに工夫を凝らした発表が行われ、賑やかな会員大会となりました。会員大会の参加者は143名(昨年度134名)でした。(担当主事 松本 記)

<会員大会で「神田川船の会」をアピール>



グリーン参加：浅見、柿沼、布上S、布上N、松本

第20回東日本区大会(川越大会)に参加

<温故知人>大会のテーマ通り、数々のクラブの方々とお会いしました。合計425名参加の素晴らしい大会、ホスト：川越クラブ、協力：埼玉、所沢クラブの皆さん、そして関東東部の各クラブからのボランティアスタッフの皆さん、ご苦労様でした。いい思い出です。

2017年6月2日武蔵松山CCゴルフコンペ、前夜祭、理事長杯表彰式。

3日ウエスタ川越にて年次代議員会、メネットアワー、担当主事会、そしてユーズの会・・・各会議室で午前中真剣な討議が続きました。(詳細は理事報告参照)

午後から大ホールでバナーセレモニー、開会式そして日本区アワー①と続きます。

記念講演は千葉県大多喜にあるローカル線「いすみ鉄道」の再生物語を鳥塚亮社長が熱演された。お話は全くプロの講演で、内容も構成・展開も素晴らしく、久しぶりに大いに感動、そして楽しませていただいた。

晩餐会は大きな多目的室に27のテーブルを設定、各テーブルに15名ずつの席を設け出席者を番号で振り分けて指定されていた。この組み合わせも相当に考えられていて、DBCにもしっかり配慮されてご苦労されたことと思います。



6月4日早朝散歩、聖日礼拝のあと東日本区アワー②が大ホールで始まりました。各事業主任、メネット委員長報告、各表彰式、そして利根川理事から栗本次期理事への継ぎ式、役員引き継ぎ式、次期栗本理事所信表明、次期役員紹介、礼拝献金、その贈呈、そして大会旗引き継ぎを行い、閉会式になりました。

エクスカッションは自分としては数回目の川越散策、いつものながらの賑わいでした。



グリーンクラブ参加：青木、浅見(隆)、浅見(ク)、柿沼、佐野・布上(征)、布上(信)、平林、松本 9名

(布上(征) 記)



## 第 37 回 「応仁の乱」(戦国時代を生んだ大乱)

2016 年 10 月 中央公論新社 呉座勇一著



専門性の高い中公新書のシリーズとして出版されたこの本は、瞬間に 20 万部を超えて静かなベストセラーとなった。本を紐解くと、歴史文献を駆使して、きわめて精緻に時代背景や合戦の様子が描かれている。そこに物語性も魅力あるエピソードもない。ただ無機的に歴史が延々と綴られている。にもかかわらず売れているのは、応仁の乱と言う 500 年以上も前に 11 年も続いた大乱の史実が現代

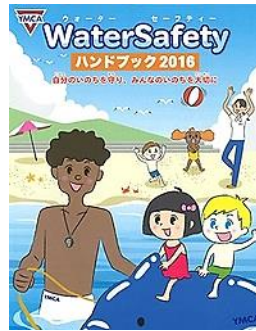
に投影されているからだろ。

南北朝の統一が成就して足利幕府の平和が続いていた頃、体制派として君臨していた細川勝元と新興勢力として台頭を始めた山名宗全なる大名同士の覇権争いが乱のきっかけである。細川家は当時の権威の象徴であった興福寺に連なり、また将軍家をバックにしていた。一方、西国大名である山名家は、西国経済をバックに幕府への挑戦を試みていた。そこに、将軍足利義政の後継争い、すなわち義政の弟義視と後に生まれた実子義尚との対立が生じ有力大名の畠山家も分裂して義就が山名家に長政が細川家に付くと言う複雑な関係が生まれた。

1467 年山名指揮する西軍と細川指揮する東軍に分かれて戦闘が始まった。将軍の跡目争いに部下の大名が関与し同じ家系に属する大名までもが敵味方に分かれて争う大儀なき乱であった。これは第 1 次世界大戦の争いのきっかけに似ている。オーストリアの皇太子がセルビアの青年に暗殺されたことがきっかけとなり新興国ドイツがセルビアに宣戦布告、旧勢力である仏、露、英がセルビアを支援する形で戦いが始まった。誰も望まない戦争であり、かつ 3 ヶ月で終焉すると思っていた戦争が数年続き、最後はドイツの降伏で終焉するが勝者、敗者とも得るものがなく欧州全体が疲弊きつた。それが第 2 次大戦へ繋がる遠因となったと言う。その時代を仕切る体制派とその体制を打破したい挑戦派は常に存在する。そして、些細なきっかけで戦いになり大義がないまますぐに収束できなくて、だだだ戦争が続くと言う悪循環を人類は繰り返してきた。

応仁の乱も雲の上の争いに便乗した下級武士が下克上しながらに上昇志向を強めた結果である。足軽制度、合戦の報奨制度、興福寺の別当(門主)任用権など戦時ならではの制度や人事での人心操り術思考が生まれてきた。京都や奈良を舞台として和平交渉が何度も開かれるが、僅かな損得の差や戦争を続けたい連中の裏切りによりなかなか終焉しない。戦争終結が如何に困難かが良く分かる。結局山名宗全と細川勝元の両大將が没し、西軍が敗走したため 1477 年ようやく戦火は終わった。その結果、旧来体制が崩壊し次の時代である戦国時代になだれ込む。天皇をトップとした旧体制が誰にでもチャンスがある戦国時代へと転換させたのが応仁の乱の意義であったと著者は結論つける。(西澤紘一 記)

## ▼全国YMCAは永年にわたって『水上安全キャンペーン』を開催し、着衣泳体験やハンドブック配布により、水難事故を防ぐ方法の普及に努めています



今年(2018年)は6月18日(日)山手センターや東陽町センターで、着衣泳の講習会を子ども対象で行ないました。また、保育園や小学校にYMCAスタッフが出向き、着泳泳プログラムを行います。このプログラムを実施するにあたり、今年(2018年)は東陽町センターや山手センターのスタッフ、社会体育・保育専門学校講師と一緒に水上安全の研修を行い、理解を深めました。

## ▼日本初の室内温水プール設立 100 年

東京YMCAが1917年(大正6年)、日本で初めての室内温水プールを設置してから今年で100周年になりました。当時、「庶民は兵式体操で足りる」とされた時代の中で東京YMCAは、青少年のバランスのとれた成長にはスポーツが有効だと考え、多くの方の寄付や協力を得てこのプールを建設しました。



写真パネル展示コーナー (東陽町センター)

100周年を記念し、特設ホームページを作りましたので、ぜひご覧ください。東京YMCAホームページからご覧頂けます。

また、東陽町センターと山手センターの館内では、8月下旬まで写真パネルを展示しています。パネルを作成するにあたり多くの方のご協力を頂きました。思ったよりも昔の写真が少なく、限られた材料で作成しましたが、きれいに仕上がったと思います。お立ち寄りの際にはぜひご覧頂ければ幸いです。(担当主事 松本竹弘 記)

\*\*\*\*\*



5月13日(土)の第75回開催は天候不順により中止となりました。今回キャンセルになられた方々を、次回第76回10月14日(土)の乗船に優先予約させていただきます。改めて、ご乗船をお申し込み下さい。<神田川船の会>